

高校生

公民・現代社会

【特徴】生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断力が望まれる

領域	目標
消費者市民社会の構築	<u>消費がもつ影響力の理解</u> 生産・流通・消費・廃棄が環境、経済や社会に与える影響を考えよう
	<u>持続可能な消費の実践</u> 持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう
	<u>消費者の参画・協働</u> 身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働して取り組むことの重要性を理解しよう
商品等の安全	<u>商品安全の理解と危険を回避する能力</u> 安全で危険の少ないくらしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう
	<u>トラブル対応能力</u> トラブル解決の法律や制度、相談機関の利用法を知ろう
生活の管理と契約	<u>選択し、契約することへの理解と考える態度</u> 適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールの活用について理解しよう
	<u>生活を設計・管理する能力</u> 主体的に生活設計を立ててみよう 生涯を見通した生活経済の管理や計画を考えよう
情報とメディア	<u>情報の収集・処理・発信能力</u> 情報と情報技術の適切な利用法や、国内だけでなく国際社会との関係を考えよう
	<u>情報社会のルールや情報モラルの理解</u> 望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう
	<u>消費生活情報に対する批判的思考力</u> 消費生活情報を評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう

学習内容（項目）	備考（関連・アクティブラーニング）
●経済活動の主体（流通） ●経済循環 ●環境問題・公害	廃棄：ゼロ・エミッション 環境税 エコマーク 食料自給率 フードマイレージ バーチャルウォーター
●環境問題 ●国際経済（フェアトレード） ●資源エネルギー問題	循環型社会 3R フェアトレード 電力供給システム グリーンコンシューマー グリーンイノベーション 再生可能エネルギー
●消費者問題（消費者主権、消費者基本法、クーリングオフ制度、製造物責任法、消費者契約法、金融商品販売法、預金者保護法、消費者庁） ●消費者保護と企業の責任（国民生活センター、消費生活センター、企業の社会的責任（CSR））	成年年齢引き下げ 未成年者取消権 商品表示 食品偽装 依存効果 デモンストレーション効果 情報の非対称性 薬害問題
●現代社会と法（契約自由の原則） ●法の分類	※家庭科との連携 悪質商法 金融商品 電子商取引（eコマース）
●租税 ●労働問題 ●社会保障（年金） ●ワーク・ライフ・バランス ●セーフティネット	※家庭科との連携 キャッシュレス社会 ポイント制度 リボ払い 自己破産 はたらくことの意味 ワークシェアリング 男女雇用機会均等法
●世論と政治参加 ●情報化の進展と生活（メディア・リテラシー）	※情報科との連携 情報公開制度
●情報化の進展と生活（情報リテラシー、情報倫理、プライバシーの権利、個人情報保護法、知的財産権）	※情報科との連携 ユビキタス社会 情報操作 CM SNS ステルスマーケティング ネットケット
●情報化の進展と生活（情報リテラシー、情報倫理）	※情報科との連携